

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	北九州高速鉄道 株式会社
-----	--------------

所管課	建築都市局 都市交通政策課
-----	---------------

団体に対するミッション
公共交通機関として重要な役割を担う北九州モノレールの安全・正確・快適な管理運営を行うとともに、経営を安定化させる。

行財政改革大綱における見直し内容
沿線の少子高齢化等の進展による利用者数の減少や車両等大規模設備の更新など、今後も厳しい経営状況が見込まれるため、応分の受益者負担等も含め、中長期の経営計画を策定し、それに基づき、経営の安定化を図る。

ミッションに基づく中期計画								
3~5年後に目指す状態	平成27年度策定の「北九州モノレール中期5か年計画」の推進に取り組み、経営基盤の強化を図る。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
運転事故の件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
経常黒字化への取組み（経常利益の確保）	△46 百万円	△41 百万円	46 百万円	91 百万円	60 百万円	4 百万円	52 百万円	3 百万円
輸送人員（人/日）	31,866人	32,995人	33,930人	34,204人	33,930人	33,883人	33,894人	33,555人

ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）			
団体における評価	保安設備等の更新及び教育訓練を計画的に実施し、安全・正確・快適な運行に努め、開業以来の運転事故ゼロを継続できた。当期は、10月実施の消費税増税に伴う運賃改定及びシルバーパスの料金値上げと併せた新たな施策として、一日乗車券やマタニティ割引切符の発売、運転免許を返納したシルバーパス利用者への特典付与を開始するなど、利用促進策を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、期末にはお客様の利用状況に影響が出始め、輸送人員が減少する結果となった。また、中期5か年計画の最終年度である当期は、地域や企業等との連携を強化、イベント列車の運行等に取り組み、将来の設備更新を見据えた新たな中期経営計画（2020年度～2024年度）の策定を行った。	市の評価	保安設備等更新及び教育訓練の実施や開業からの運転事故ゼロを継続することで、公共交通機関としての役割を果たすとともに、最も重要な安全、正確、快適を維持している。 また、様々なサービス向上策や企画列車、学校・企業との連携強化など、攻めの経営活動を推進したものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、期末には利用状況に影響が出始め、輸送人員が減少する結果となったが、経常収益を確保したことは、不断の経営改善の結果が出ているものと評価している。 コロナ禍の大変厳しい状況ではあるが、新たな中期経営計画に着実に取り組みつつ、経営基盤の強化に努めていただきたい。
	今後の課題及び見直し内容（案）		令和元年度策定の「北九州モノレール中期経営計画（2020年度～2024年度）」に基づき、安全安定輸送を確保するとともに、経営の安定化を図る。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
平成27年度策定の「北九州モノレール中期5か年計画（平成27年度～令和元年度）」により、経営の安定化に取り組んだ。	